

沼 建 第 2 3 号

令 和 0 5 年 0 9 月 1 4 日

国土交通大臣 殿

沼津市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和04年01月27日 付け 沼建第36号 で提出した、社会資本総合  
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月27日

計画の名称	原駅周辺地区における交通結節点の機能強化													
計画の期間	令和04年度 ~ 令和07年度 (4年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	沼津市													
計画の目標	<p>原駅町沖線は、乗降客数約4,700人(H26)のJR原駅を起点として国道1号を経て県道原停車場線にリンクする幹線道路で、市の西の玄関口として中心的な役割を担っている。</p> <p>第1次沼津市交通安全計画で策定されたバリアフリーに配慮した駅前広場整備を行い、誰もが安全で容易に原駅周辺を移動することができるよう、交通結節点としての機能強化を図るものである。</p> <p>また、先行して整備されている市内鉄道駅前広場(沼津駅・片浜駅)と合わせて、沼津市内の駅前広場整備率を向上させ、駅から駅へ、駅から周辺地区への移動を容易にし、移動困難者の市内移動可能範囲の拡大を図る。</p>													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		146	A	146	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R7末
1	歩行空間の改善(原駅北口地区における移動困難箇所を減らす。) 歩行空間の改善(原駅北口地区における移動困難箇所を減らす。) 歩行空間の改善 原駅北口地区の移動困難箇所の解消(原駅から原地区センターまで)	3箇所	箇所	1箇所
2	沼津市内の鉄道駅にバリアフリーに配慮した駅前広場を整備する。 沼津市内の鉄道駅にバリアフリーに配慮した駅前広場を整備する。 整備済駅数(総駅数4駅のうち)	2箇所	箇所	3箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	沼津市	直接	沼津市	S街路	改築	(都)原駅町沖線(駅前 広場)	駅前広場整備 A=2,700m2	沼津市						146	-	
												小計						146	
											合計						146		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	39				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	39				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	39				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 原駅周辺地区における交通結節点の機能強化

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が期待できる。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等により相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

# 社会資本総合整備計画 参考図面

